

2023年6月9日  
凸版印刷株式会社

凸版印刷、「画像センシング展 2023」に出展  
ハイブリッド ToF<sup>®</sup>センサによる、業界トップクラスの 20m センシングデモ  
各種 ToF アプリケーションを紹介

凸版印刷株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:麿 秀晴、以下 凸版印刷)は、6月14日(水)から16日(金)に開催される「画像センシング展 2023」(会場:パシフィコ横浜)に出展します。



凸版印刷ブースイメージ

©TOPPAN INC.

「画像センシング展 2023」は、国内外の画像処理機器・センシング技術が幅広く出展される展示会です。今回は特に、今後飛躍的に利用シーンを拡大していく技術と期待される、AI・ディープラーニング/クラウド・5G・6G・通信/IoT・エッジコンピューティング/VR・AR・MR/自動化システム・RPA などを紹介する「デジタルソリューションズゾーン」が設置されています。

凸版印刷ブース(小間番号 D-18)は、特設の「デジタルソリューションズゾーン」に出展。2022年6月にプレスリリースした三次元距離画像センサ(以下 ハイブリッド ToF<sup>®</sup>センサ)を搭載したカメラ(試作機)を使った「20m センシング」、ソフトウェア開発キット(Software Development Kit, 以下 SDK)を利用して開発した自律走行ロボット開発メーカー向けのサンプルアプリ「障害物検知」、ユーザーインターフェース(以下 UI)のアプリケーションとして「AR グラス UI」や「タッチレス UI」などの実物展示とともに、デモンストレーションを交えて紹介します。

## ■ 主な展示内容

### (1)「ハイブリッド ToF®カメラ」による「20m センシング」のデモンストレーション

凸版印刷が開発した最大 30m を測れるハイブリッド ToF®センサを搭載したカメラ「ハイブリッド ToF®カメラ」を初出展します。本展示会ではハイブリッド ToF®カメラを使用して、1mから 20mまでの広い範囲をセンシングする実証デモンストレーションを行います。

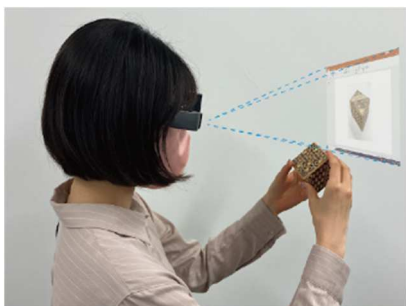
### (2)自律走行ロボット開発メーカー向けアプリ「障害物検知」のデモンストレーション

ロボティクス向けの開発環境である Robot Operating System 2 (ROS 2) に対応した SDK の利用事例として、自律走行ロボットを想定した「障害物検知」アプリケーションのデモンストレーションを行います。凸版印刷のハイブリッド ToF®センサの強みである「動きへの強さ」を活かし、ToF カメラに映った人物の3次元位置を認識して、ロボットへの動作指示を表示します。

### (3)UI アプリケーション

AR グラスやディスプレイなどの機器とハイブリッド ToF®カメラを接続するアプリケーションとして、「AR グラス UI」と「タッチレス UI」を紹介します。

#### ・「AR グラス UI」



AR グラスの前に手をかざすだけでグラスに表示された画面を操作することが可能。従来のように操作用コントローラーなどを持つ必要がなくなり、両手をフリーな状態にすることができます。

#### ・非接触によるディスプレイ操作ソリューション「タッチレス UI」

ディスプレイに外付けした ToF カメラで仮想タッチパネルを作り出し、ディスプレイの前で手を動かすだけで画面を操作することができます。



## ■ 「画像センシング展 2023」について

名称：画像センシング展 2023

会期：2023 年 6 月 14 日(水)～16 日(金)

会場時間：10:00～17:00

会場：パシフィコ横浜 展示ホール D

主催：アドコム・メディア株式会社

公式サイト URL: <https://www.adcom-media.co.jp/iss/outline/>

\* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

\* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上